

29年4月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成29年 4月1日～ 28年4月10日

2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は8社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/4月	5月	6月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	△ 37.5
	マツ	△ 33.3	△ 22.2	△ 22.2
	広葉樹	△ 22.2	△ 16.7	△ 16.7
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 21.4	△ 28.6	△ 21.4
	マツ	△ 35.7	△ 42.9	△ 28.6
	広葉樹	△ 25.0	△ 18.8	△ 6.3
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 28.6	△ 14.3	△ 21.4
	マツ	△ 35.7	△ 28.6	△ 28.6
	広葉樹	△ 31.3	△ 6.3	△ 12.5

・チップ用国産原木の入荷、消費及び在庫は3カ月連続で減少。

(2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	29/4月	5月	6月
スギ・ヒノキ	16.7	0.0	0.0
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	△ 6.3	0.0	0.0

・チップ用国産原木の購入価格はスギ・ヒノキは4月の強含みから、5月、6月は横ばい。マツ類は3カ月連続の保合で推移。広葉樹は4月は減少、5月、6月は保合で推移。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

・仕入は、スギのシステム販売の終了とともに入荷減、マツおよび広葉樹は森林再生事業により増加が見込まれる（東北）。

・仕入良好、消費および在庫は変動なし（中国）。

・仕入、消費、在庫とも、天候もよく4月、5月とも仕入は増加見込、6月は虫の入る時期なので横ばい見通し（四国）。

・仕入は、4月、5月は天候が良ければ針葉樹・広葉樹とも3月並みに入荷、6月は梅雨に入るので減少が見込まれる。消費は、4月は製紙需要もよくフル生産に近い、5月は例年製紙、木質バイオマス発電ともに点検月のため、出荷できず。在庫は、4月までは全樹種ともフル生産のためやや減少、5月は減産予想のため原木在庫は積み増しとなる模様（九州）。

・仕入は、スギ原木は基本的に仕入れなし、広葉樹は材が入らない。仕入状況に応じた生産を実施（九州）。

(原木価格)

・原木の購入価格は、樹種を問わず上昇傾向である（東北）。

・原木仕入価格は変動なし（四国）。

・製紙用といえども木質バイオマス発電用との競合により高値の原木も集荷せざるを得ない。発電用材も出荷山林条件によっては値上げ対応している。広葉樹はしばらく現状維持（九州）。

29年4月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/4月	5月	6月
生産 動向	スギ・ヒノキ	△ 10.0	0.0	△ 10.0
	マツ類	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3
	広葉樹	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
出荷 動向	スギ・ヒノキ	△ 10.0	0.0	△ 10.0
	マツ類	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3
	広葉樹	△ 16.7	△ 14.3	△ 14.3
在庫 動向	スギ・ヒノキ	△ 30.0	△ 40.0	△ 40.0
	マツ類	△ 41.7	△ 41.7	△ 41.7
	広葉樹	△ 42.9	△ 42.9	△ 42.9

・木材チップの生産、出荷及び在庫動向は、全般的に3カ月連続で減少。

(2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し)W

品目	29/4月	5月	6月
スギ・ヒノキ類	0.0	0.0	0.0
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

・木材チップの出荷価格は横ばい推移。

モニターからのコメント

(木材チップ荷動き)

- ・木材チップの荷動きは、生産・出荷・在庫とも、樹種にかかわらず変動なし（中国）。
- ・製紙用は針葉樹・広葉樹ともにフル稼働での出荷要請あり（九州）。
- ・粗飼料、敷料、土壌用を他業者から購入している。製造用は広葉樹原木の入荷に応じた生産を実施。針葉樹在庫はない、広葉樹はサイロに少々あり（九州）。

(木材チップ価格)

- ・木材チップの価格は、樹種にかかわらず変動なし（中国）
- ・全樹種、新年度も価格据え置きである（九州）。